

「生徒が元気！先生が元気！保護者が、地域が元気！上中から元気を発信！」上甕中学校キャッチフレーズ

自主
錬磨
協調



学校だより 12月号
平成29年12月22日発行
〒896-1201 薩摩川内市上甕町中甕191-1
薩摩川内市立上甕中学校
TEL:09969-2-0014 FAX:09969-2-0041



民生委員と語る会

12月13日(水)に校区の民生委員の方々と語る会がありました。毎年この時期に行われる会ですが、今回は9名の民生委員と世話役の大村慎吾さん(上甕支所)が、参加してくださいました。約1時間かけて、施設を見て回ったり、中学生の授業を参観したり、意見交換したりして、本校の現状を理解していただきました。その後、「先生たちのことも、もっと知って親交を深めたい。」という民生委員の方々の企画で、職員との交流会も行われました。民生委員制度創立100周年の今年、上甕中校区も地域と学校がますます一体となって、子供たちが安心して過ごせる環境づくりを目指します。



【掲示物に注目】【生徒は緊張気味】【温かい目で授業参観】【生徒作品も閲覧】

学校評価 2学期の振り返り

★生徒の自己評価

	高い評価項目		低い評価項目
学習面	授業の開始時刻に遅れることなく準備ができた。朝読書は、きちんとできた。	◎3.7	家庭学習は自分で目標・計画を立て、それにそってきちんと実施できた。
生活面	朝の登校時間に遅刻することなく登校できた。	◎3.9	作業や身のまわりの整理整頓がきちんとできた。
健康安全面	朝食は毎日きちんと食べて登校できた。歩行の仕方や自転車の乗り方など交通安全に努めた。	◎3.9	早寝早起きができた。
その他	学校行事に積極的に取り組めた。	◎4.0	家族の一員として家事の分担など進んでできた。

★保護者の学校評価

	項目	保護者	
		1学期	2学期
1	学校は、学校教育目標や学校経営の基本方針に沿った教育活動を展開している。	3.3	3.4
2	学校では、教科指導の工夫や充実などにより、生徒の学力向上が図られている。	3.1	▼2.9
3	学校では、一人一人の実態に応じた学習指導がきめ細かくなされている。	3.0	3.0
4	生徒は、授業の内容が理解できると言っている。	3.0	3.1
5	学校は、望ましい部活動運営に努め、生徒も積極的に部活動に参加し活動している。	3.2	3.3
6	学校では、一人一人の実態に応じた生活指導がきめ細かくなされている。	2.9	◎3.1
7	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	3.5	3.5
8	生徒は、地域の中でも気持ちのよいあいさつをしてくれる。	3.0	3.0
9	生徒会は、学校のさまざまな活動を通して、達成会や連帯感などを得ている。	3.2	◎3.4
10	学校は生徒の安全指導に努め、生命を大切にす心や社会のルールを守ろうとする態度を育成している。	3.3	3.4
11	職員は、生徒の悩みに親身になって相談のつてくれる。	3.3	3.3
12	職員は、親としても相談しやすい。	3.4	3.4
13	職員は、地域行事や活動に積極的に参加し、地域の活性化に貢献している。	3.1	3.2
14	学校は施設や設備の充実に努め、校内外の環境美化や整備に積極的に取り組んでいる。	3.5	3.4
15	小中一貫指導重点項目(〇〇強調週間)・生活リズム調査では、家庭でも協力して取り組んでいる。	3.3	▼2.9
16	生徒は、ふるさと・コミュニケーション科の授業を楽しみにしている。	3.1	3.1
17	授業交流(小学校の先生が授業を行う)を生徒は楽しみにしている。	3.3	3.2
18	中学校区で取り組んでいる小中一貫教育を理解している。	3.5	3.4
19	学校は、学力向上をはじめとして、保護者や地域の願いに応じている。	3.0	3.1
20	学校は各種よりの発行やホームページ、PTA活動や学校行事等を通して家庭地域への情報発信を十分行っている。	3.1	◎3.3
21	学校は地域行事や地域活動への生徒の参加について積極的に促進している。	3.1	◎3.4
22	学校から出される配布物(学校だよりや通信・お知らせ等)は、必ず読んでいます。	3.3	3.2
23	「早寝・早起き・朝ご飯」家庭学習60・90運動」など県PTA連合会等の推進する取組を家庭でも実施している。	3.1	▼2.9

「4」ともよい「3」よい「2」あまりよくない「1」よくない 0.2以上あがった評価:◎ 下がった評価:▼ アンケートの御協力、ありがとうございます。結果は真摯に受けとめ、今後の教育活動の充実に向け、参考にさせていただきます。

1月の行事

日	曜	行	事	日	曜	行	事
9	火	始	業式	17	水	1・2年鹿児島学習定着度調査(～18日)	
10	水	3	年実力テスト(～11日)	24	水	体験入学・新入学説明会	
13	土	土	曜授業・元気塾	27	土	県中学校新人卓球大会(～28日)	
15	月	3	年生激励会(生徒集会)	31	水	使用済み切手収集	

お 礼

●平成29年度も無事に2学期を終えようとしております。今学期も数多くの学校行事や地域行事がありましたが、その度に保護者や地域の方々からの温かい御支援、御声援を賜り、生徒も職員も心置きなく精一杯取り組むことができました。改善しなくてはならない課題もまだまだたくさんありますが、今後とも忌憚のない御意見や御指導をよろしく願いたします。年末年始の皆様のご健康と安全を心より祈念いたします。

受 賞

- 平成29年度鹿児島県統計グラフコンクール 【学校賞】上甕中学校
- 【佳作】家吉真央 柘木琴奈
- 平成29年度あいさつポスター・標語 【優秀賞】中尾蓮夢

おめでとう！

春に向けて花作り

この日は曇り空で冷たい風の吹く日ではありませんでしたが、校庭横の学級園では、生徒たちが熱心に花園作りに励んでいました。まだ花のついていない小さな苗を、一つ一つ愛おむかのように大事に植え付けている様子に、たくさんの鮮やかな花々に彩られた春の校庭を確信することでした。この日は、一人一鉢のチューリップの球根も白い鉢に植え付けました。これからも水やりや除草を丁寧に続けてくれることを期待します。



寄せられた手紙

12月12日、学校に一通の手紙が届きました。埼玉県在住の女性の方から生徒会長宛に宛てられたその内容は、観光で訪れた資料館で貰った生徒会新聞「海風」を読んだ感想でした。中学校卒業と同時に島立ちすることへの驚きと励ましの言葉が温かく綴られており、全校生徒及び職員一同、感激と感謝の気持ちでいっぱいになりました。



「時を守り、場を清め、礼をつくす」上中をめざして

校長 鬼塚 富貴子

一番長い2学期が終わろうとしています。今学期は、小中合同運動会をはじめ、上中祭、生徒会立会演説会・選挙、生徒総会等大きな行事が実施され、期待以上の成果を残すことができました。これらの成果は、学校教育や家庭・地域の教育活動の地道な積み重ねであることはいまではありません。それぞれの行事の後に、参加された皆様からの激励と賞賛の声(言葉と手紙)が大きな支えと活力になりました。改めて、保護者・地域の皆様方へ心からお礼を申し上げます。

また、本年度は「時を守り、場を清め、礼をつくす」ことに心がけてきました。時間は皆平等です。皆、それぞれ一日の流れ(過ごし方)があります。その中で会議等を設定する際は「実のあるもの」になるよう、職員に働きかけてきました。おかげ様で各部会も充実してきました。例えば、先生方は授業だけではなく学校運営上の必要な係を担当し、事前準備、当日、事後までの一連の責任者です。運動会や上中祭、持久走大会や生徒総会等、学校教育に関わる全ての行事です。薩摩川内市の特色である小中一貫教育では、中津小学校との授業交流をほぼ全教科にわたり行っています。全てが生徒に知・徳・体・ふる里を身に付けさせるための内容です。さらに、学校の緑化活動や整理整頓は、学校主事を含め、PTA奉仕作業等の協力で、学校全体の環境衛生等がよくなりました。(校庭遊具撤去は、保護者による活動でした。)

先日、地域の方から、「学校がきれいになりましたね。風になびく中学校の国旗を見ながら、自身の中学生時期を思い出します。今でも、正門前を通るときは、校舎に向かい一礼をしています」というお話を聞き、学校に対する熱い思いを感じました。2017年もあとわずかです。この時期にこの言葉で締めくくることができることに心から感謝しています。

3年生にとって島立ちまで100日もありません。冬休みは、健康に気をつけ、日々の時間を大切に過ごしてください。1～2年生は、自らやりたいことを見つけ、積極的に挑戦(体験)してください。それが自身の視野を広げるいい機会になります。上甕中の教職員は、生徒17名の応援団長です。困ったことがあればいつでも御連絡ください。生徒の成長に向け、常に、連絡体制をとりまですので保護者の皆様、どうぞ御安心して年末年始をお過ごしください。

上甕中PTA準会員 随時募集！！ 海風・学校便り等をお届けします。(年会費1000円) 詳しくは上甕中学校(教頭)まで

「生徒が元気！先生が元気！保護者が、地域が元気！上中から元気を発信！」上甕中学校キャッチフレーズ

小中一貫教育のアンケートについて平成23年度から平成27年度までをまとめてみました。

保護者へのアンケートまとめ 平均値		平均値				
		4点	3点	2点	1点	
番	項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	子どもたちは楽しそうに生き生きと学校生活を送っていると思う	3.4	3.5	3.5	3.7	3.6
2	教職員は、子どもや保護者、地域との望ましい関係を築いていると思う	3.0	3.3	3.2	3.3	3.5
3	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っていると思う	3.3	3.2	3.5	3.4	3.5
4	学校便り、ホームページ等で小中一貫教育やコミュニケーション科についての説明・広報が積極的に行われていると思う	3.1	3.4	3.4	3.4	3.4
5	小・中学校の教職員が連携し、中1ギャップを解消しようとする試みは良い取組だと思う	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6
6	以前に比べて、小・中学校間、小学校間の連携が強くなってきたと思う	3.4	3.2	3.2	2.9	3.1
7	小・中学校の教職員が相互に学校を訪れ、授業交流を積極的に行っていると思う	3.5	3.2	3.5	3.2	3.5
8	小・中学校の児童・生徒による交流活動が積極的に行われていると思う	3.3	3.1	3.4	3.4	3.4
9	コミュニケーション科の、「ふるさとを知り、情報発信(表現)する」学習には、期待できる	3.3	3.1	3.4	3.2	3.3
10	薩摩川内元気塾は、子どもたちに夢や元気を与えていると思う	3.1	3.3	3.5	3.3	3.3
11	薩摩川内市で小学校第1学年から英語活動が行われていることは良い取組だと思う	3.6	3.7	3.6	3.4	3.6
12	薩摩川内市で小学校の英語活動に英語に堪能な地域の人材を活用していることは良い取組だと思う	3.4	3.6	3.5	3.6	3.6
13	英語教育推進について、小・中学校の授業交流等、その特質を生かして充実が図られていると思う	3.2	3.3	3.3	3.3	3.5
14	小中一貫教育は良い取組だと思う	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5
平均		3.3	3.3	3.4	3.4	3.5
		3.0以下	3.1~3.2	3.3~3.4	3.5~3.6	3.7以上

小中一貫教育教職員意識調査 平均値		平均値				
		4点	3点	2点	1点	
番	項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	自分は薩摩川内市の小中一貫教育の目標を理解している	3.0	3.6	3.3	3.1	3.3
2	自分は自分の所属する中学校区の小中一貫教育の目標と内容を理解している	3.3	3.7	3.5	3.4	3.5
3	自分の所属する中学校区では小中一貫教育の目標を達成するために学校間、教職員間の連携が図られている	3.1	3.8	3.7	3.5	3.6
4	自分の所属する中学校区では、義務教育9年間で子どもたちを育てるという意識が醸成されている	3.0	3.9	3.7	3.4	3.7
5	自分の所属する中学校区では、「4・3・2制」の教育段階の考え方をもとに「教師の授業交流」が盛んである	2.9	3.8	3.8	3.4	3.5
6	自分の所属する中学校区では、「4・3・2制」の教育段階の考え方をもとに「児童生徒の交流活動」が盛んである	2.9	3.9	3.8	3.3	3.6
7	自分でも「教師の授業交流」、「児童生徒の交流活動」に積極的に取り組むなど、中1ギャップの解消に努めた	3.0	3.8	3.5	3.0	3.3
8	自分はコミュニケーション科の目標や、育てたい4つの力を理解している	3.1	3.5	3.1	3.1	3.0
9	自分はコミュニケーション科と他の教科等との相乗効果が図られるよう努めている	2.8	3.4	3.1	3.1	2.9
10	自分の所属する中学校区の小学校では、第1学年からの英語活動が積極的・効果的に行われている	3.2	3.7	3.5	3.3	3.4
11	自分の所属する中学校区では、小学校英語活動の推進に関して、中学校との連携が図られている	3.5	3.9	3.9	3.4	3.5
12	自分の所属する中学校区では、小学校は、児童が進学時に中学校の授業についていけるよう指導している	2.9	3.8	3.6	3.5	3.4
13	自分の所属する中学校区では、中学校は、新入生に対して丁寧な指導に心がけ、特に中1段階での不登校発生を防いでいる	3.4	3.8	3.8	3.6	3.7
14	自分の所属する中学校区では、小中一貫教育は積極的に実践されている	3.1	3.8	3.9	3.6	3.7
15	今年度、自分の所属する中学校区では、学習指導上の望ましい成果が見られている	2.9	3.3	3.1	3.2	3.3
16	今年度、自分の所属する中学校区では、生徒指導上の望ましい成果が見られている	3.0	3.6	3.4	3.2	3.6
17	今年度、自分の所属する中学校区では、進路指導上の望ましい成果が見られている	2.8	3.4	3.1	3.2	3.6
18	今年度、自分の所属する中学校区では、保健指導上の望ましい成果が見られている	2.9	3.5	3.3	3.3	3.4
19	自分の所属する中学校区では、教育の成果と推進上の課題が明らかである(PDCAサイクルが確立している)	2.8	3.4	3.1	3.0	3.2
20	自分の所属する中学校区では、研究組織または体制について、その課題及び改善の視点が明らかである	3.3	3.5	3.1	3.1	3.4
平均		3.0	3.6	3.4	3.3	3.4
		2.8以下	2.9~3.1	3.2~3.4	3.5~3.7	3.8以上

概ね3以上の高評価ですが、特に保護者からの中1ギャップを解消しようという考えが認められ、職員も中1ギャップ解消への意識が高いことが分かります。今後、更に上甕中校区の小中一貫教育が充実したものとなるように取り組んでいきます。